

玄関ドア 一般枠 ガラスブロック仕様 組立説明書

■ 本説明書では、お使いになる人や他の人の財産への損害を未然に防ぐため、次のような絵表示をしています。

絵表示	意味
お願い	取り扱いを誤ると、使用者が傷害を負う危険や、物的損害の発生が想定されますので、「必ず行っていただく事」を示しています。

- お願い**
- ・本製品は土間納まり専用の商品です。
 - ・製品の現場保管につきましては、直射日光を避け、屋内の風通しの良い場所を選んで、保管するようにお願いします。
 - ・組み立て及び取り付けは所定のネジを使用して最後まで締め付けてください。
締め付け不良は漏水や事故の原因になります。
枠組立ネジ 2~2.5N・m (20~25kgf・cm) 程度
枠取付木ネジ 2N・m (20kgf・cm) 以下が目安です。
 - ・危険防止のため、枠を躯体へ取り付け及びドア本体の吊り込みの際は、必ず2人以上で行ってください。
 - ・組み立て前に内容物を確認ください。(表を参照)
 - ・錠セット、ドアクローザーの取り付け・調整は、それぞれに同梱されている説明書をご覧ください。

ビスセット

枠組立用		枠取付用					
㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	㉘
組立ネジ(長)	組立ネジ(短)	ビスキャップ	取付木ネジ(上用)	取付木ネジ(縦用)	取付木ネジ(外用)	アングル用木ネジ	アソカー
4x70ナバ	4x35ナバ	田	*1φ3.5x50皿木ネジ	*1φ3.5x40皿木ネジ	*1φ3.8x32特平皿	*1.2φ3.1x20丸皿木ネジ	

ビスセット

枠取付用		㉙	㉚
ガラスブロック取付ネジ		ガラスブロック周り用 シールバックアップ材	ガラスブロック重ね部用 シールバックアップ材
4X13セルフドリリングナバ		2x16; L=1000	φ8; L=2000

丁番セット

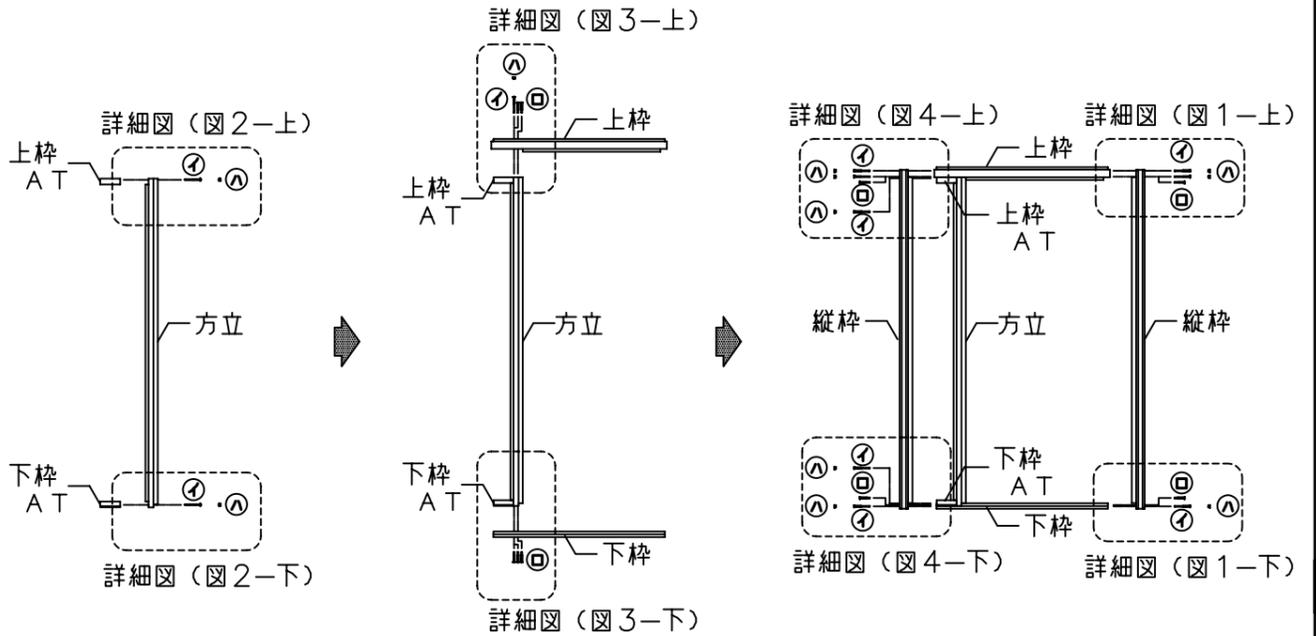
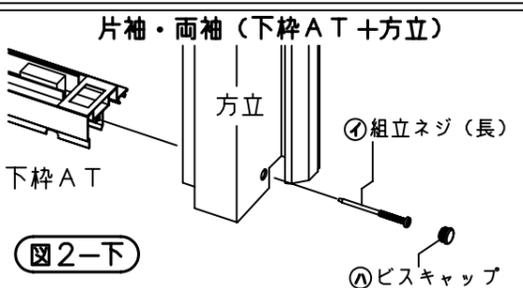
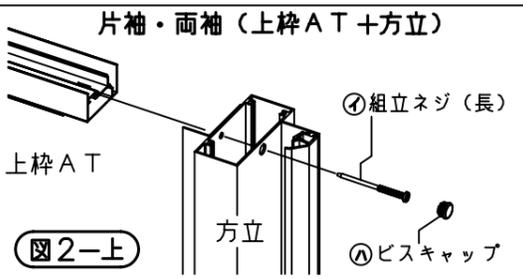
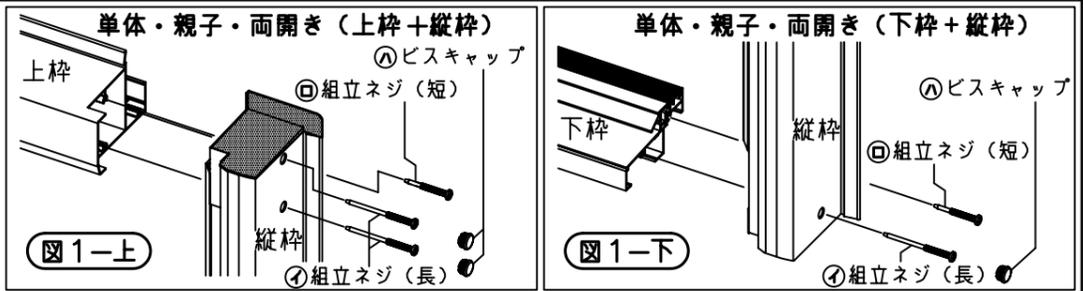
㉛	㉜	㉝	㉞
丁番	丁番取付ネジ	高さ調整スペーサー	枠側丁番スペーサー
枠用	本体用	4x20皿	

- ・本製品は、玄関ドアガラスブロック仕様枠のみです。ガラスブロックを別途手配願います。
- ・ガラスブロックの梱包内には、ガラスブロックの他にテラスサイズ等ガラスブロックを重ねて使用する際の、チリ出しスペーサーが同梱されています。
- ・ガラスブロック周りのシーリング材は、別途手配願います。

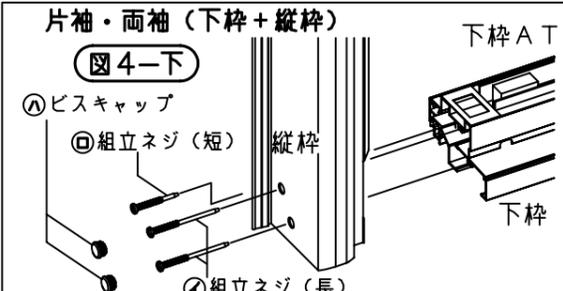
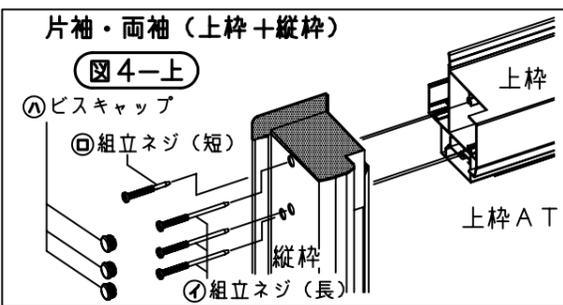
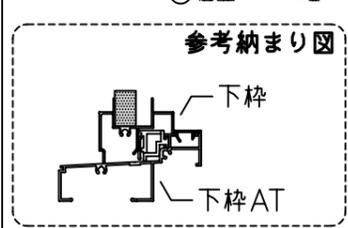
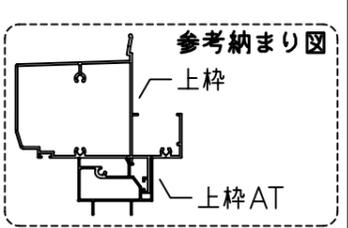
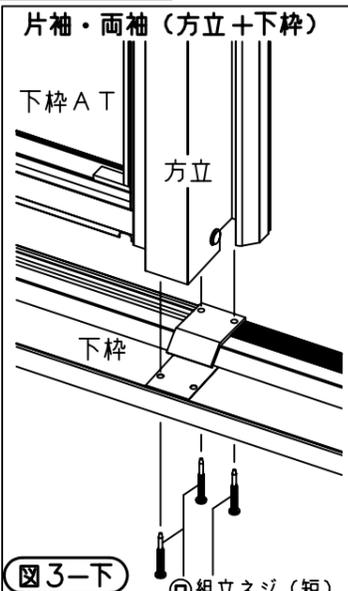
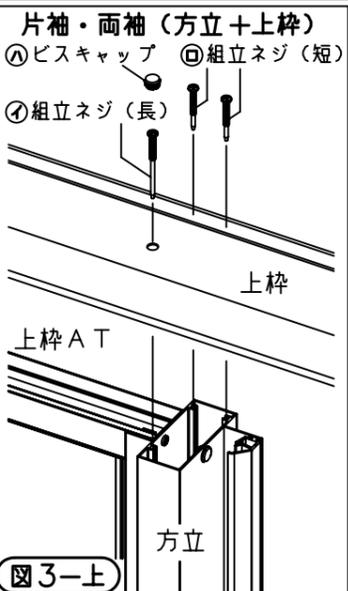
1 枠の組み立て

お願い 各接合部のシーラーをずれなくはさみ込むように上下枠をネジ止めしてください。漏水の原因になるおそれがあります。

- ポイント**
- ・シーラーの位置ずれ、折れ曲がりがないことを確認してください。
 - ・シーラーが型材にそって、均一にはみだしていることを確認してください。

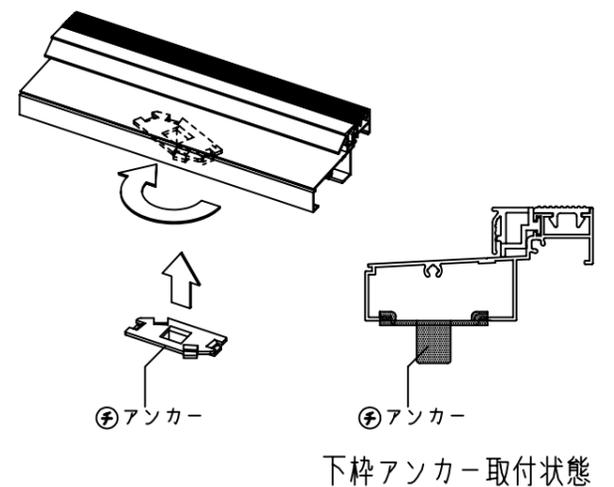


- ポイント** 図3のネジを仮止めした状態にすると図4が組み立てやすくなります。組み立て完了後は、仮止めのネジを最後まで締め付けてください。



アンカーの取り付け

下枠下方より差し込んでから回転してください。



下枠アンカー取付状態

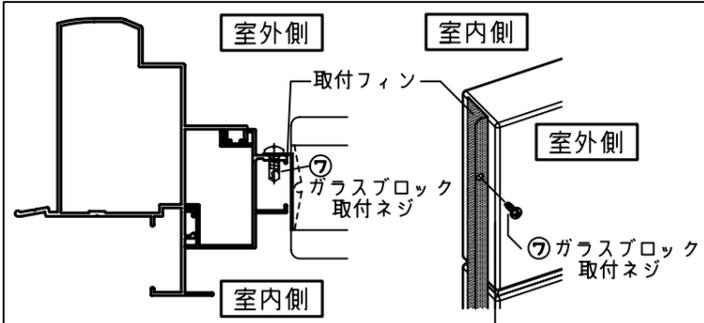
2 ガラスブロックの取り付け

お願い

- ・ガラスブロックは、一般のガラスに比べ重量が重くなっています。
現場にて、ドア枠取り付け後、ガラスブロック取り付けを行ってください。
- ・ドア枠の取り付けは、『取付説明書』に従って取り付けを行ってください。
- ・枠施工の際には、『取付説明書』内『枠の取り付け』の項目にしたがって対角の差・ソリ・ネジレのないことを確認してください。
- ・ガラスブロックの取り付け・取り扱い、十分に注意をして作業を行ってください。

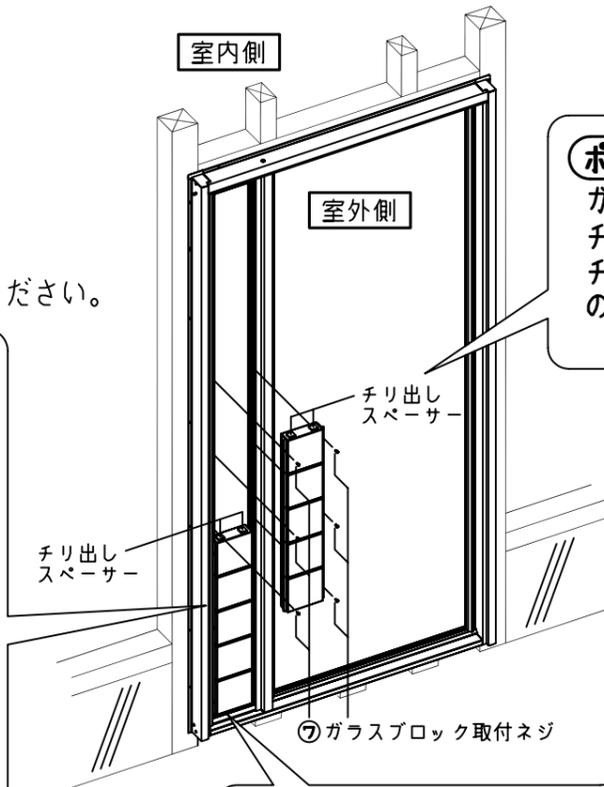
ポイント

ガラスブロックには、室外側・室内側の取り付け向きがあります。取り付けフィンが、室外側になるように取り付けてください。上下方向の区別はありません。



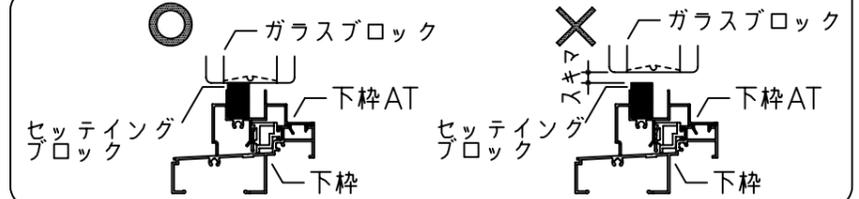
ポイント

ガラスブロックと同梱されているチリ出しスペーサーを貼り付け、チリを統一してからガラスブロックの取り付けをおこなってください。

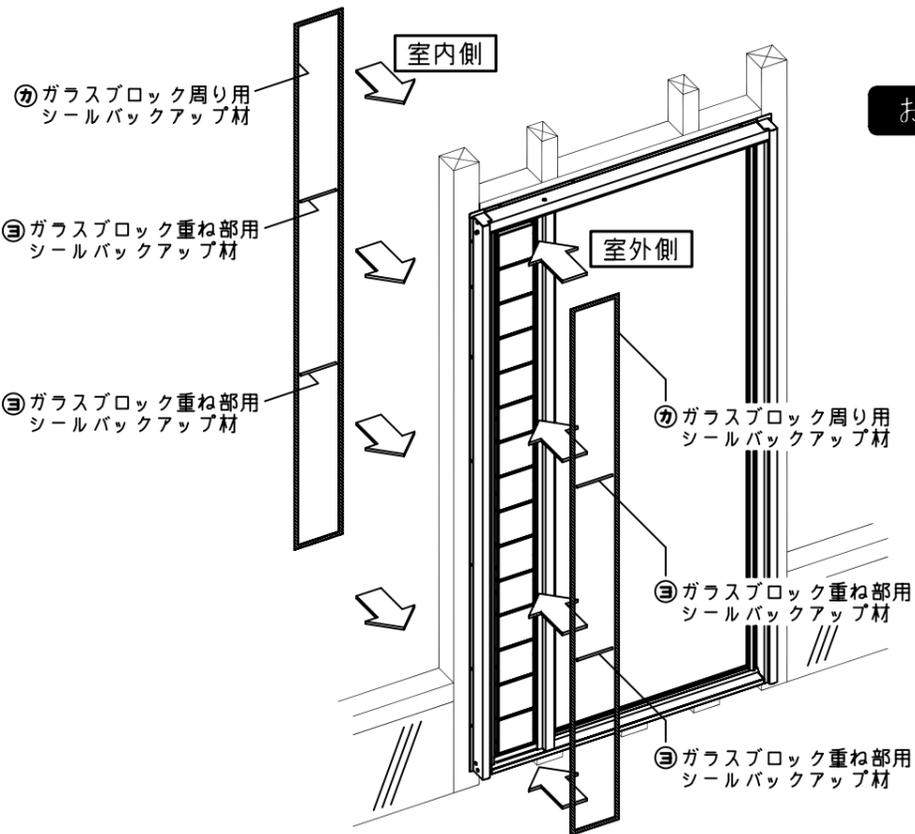


ポイント

下枠のセッティングブロックとガラスブロックとの間にはスキマがないことを確認してください。



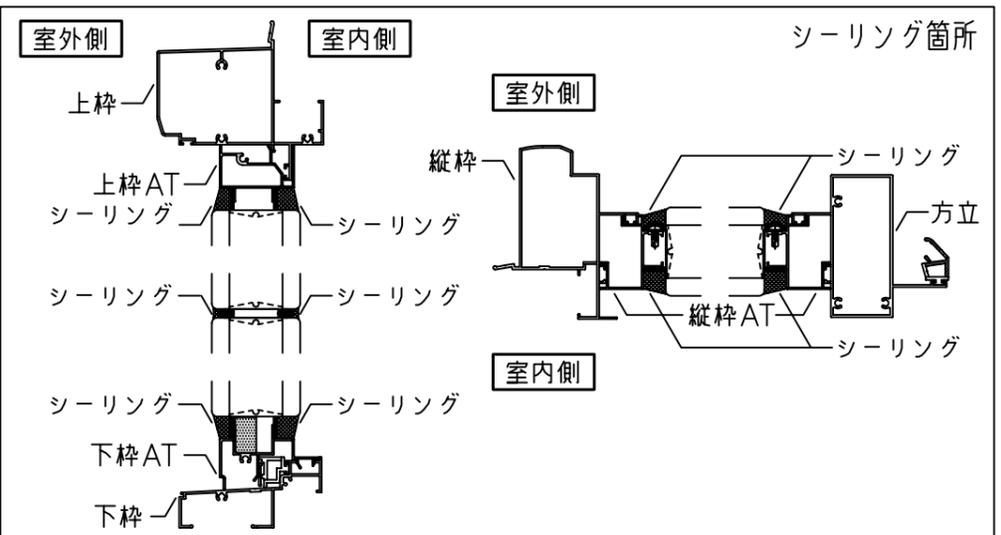
3 ガラスブロックのシーリング



お願い

- ・シーリング処理は室内外共にスキマ、切れ目等無いようにしっかりおこなってください。
- ※シーリング処理が不完全な場合、漏水等の原因になるおそれがあります。
- ・シーリング処理後は、完全にシーリングが乾いてから次の作業をおこなってください。(目安として、1日放置してください。)
- ※シーリングが完全に乾く前に動かすと、シーリング切れや割れを起こし、漏水等の原因となるおそれがあります。

- ・室内側・室外側共にガラスブロック周り、及びガラスブロックを重ねた部分にシールバックアップ材を入れた後、シーリング(別途)を施してください。



4 丁番の取り付けと本体の吊り込み

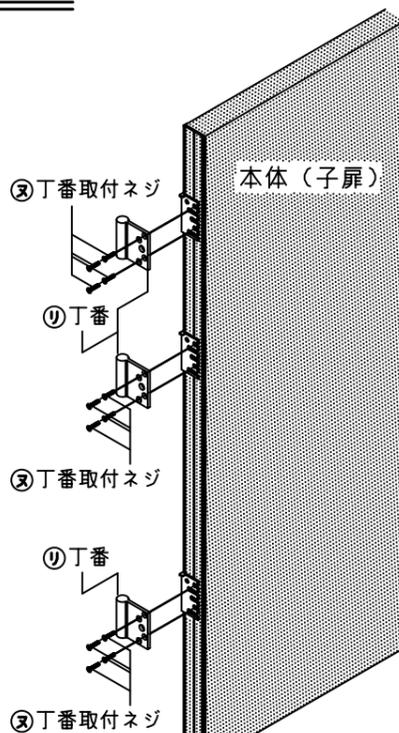
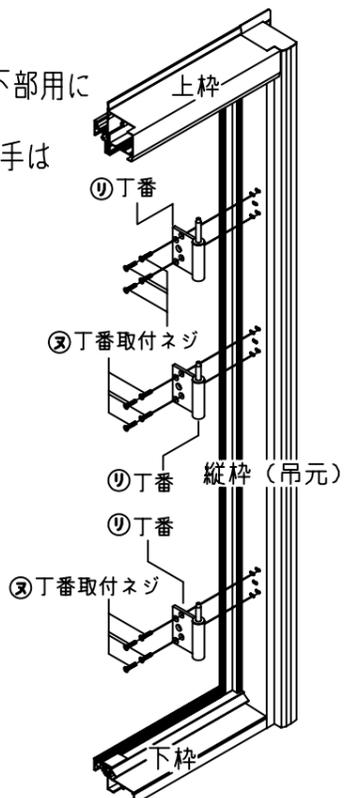
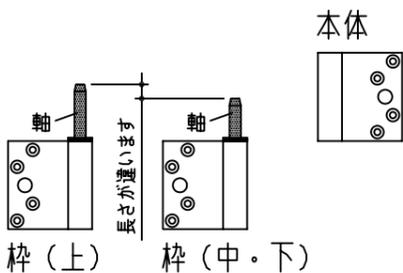
電動ドライバー使用禁止

- ① 丁番を枠とドア本体に取り付けてください。その際、枠側に取り付ける丁番は上部用と下部用にご注意ください。丁番セットのR勝手は外観右の吊元側、L勝手は外観左の吊元側に取り付けてください。
- ② 枠にドア本体を吊り込んでください。

ポイント

① 丁番には、枠側上・下と本体側の区別があります。

軸の長い丁番：枠(上)
軸の短い丁番：枠(中・下)

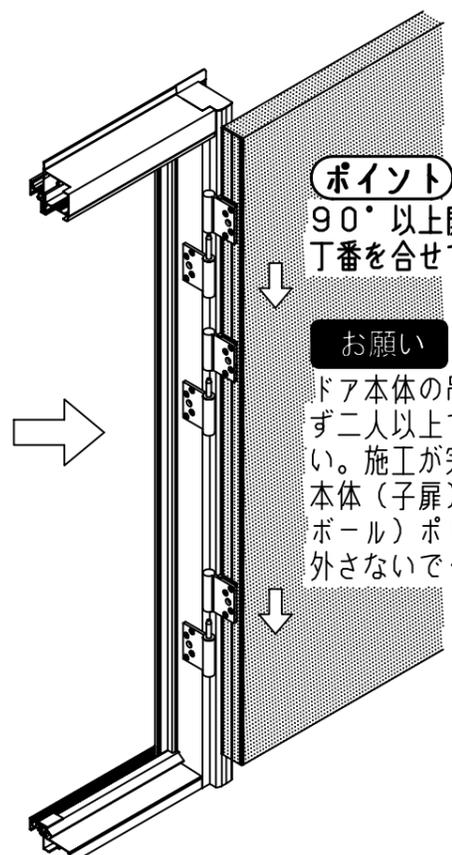


ポイント

90°以上開いて先に上の丁番を合せてください。

お願い

ドア本体の吊り込みは、必ず二人以上で行ってください。施工が完了するまで、本体(子扉)の表面材(段ボール)ポリシートを取り外さないでください。



- この説明書は、施工される方にお渡しください。
- 本説明書では、お使いになる人や他の人の財産への損害を未然に防ぐため、次のような絵表示をしています。

絵表示	意味
お願い	取り扱いを誤ると、使用者が傷害を負う危険や、物的損害の発生が想定されますので、「必ず行っていただく事」を示しています。

- お願い**
- ・本製品は土間納まり専用の商品です。
 - ・製品の現場保管につきましては、直射日光を避け、屋内の風通しの良い場所を選んで、保管するようにお願いします。
 - ・組み立て及び取り付けは所定のネジを使用して最後まで締め付けてください。
締め付け不良は漏水や事故の原因になります。
 - ・締りネジ 2~2.5N・m (20~25kgf・cm) 程度
枠取付木ネジ 2N・m (20kgf・cm) 以下が目安です。
 - ・危険防止のため、枠を躯体へ取り付け及びドア本体の吊り込みの際は、必ず2人以上で行ってください。
 - ・組み立て前に内容物を確認ください。(表を参照)
 - ・錠セット、ドアクローザーの取り付け・調整は、それぞれに同梱されている説明書をご覧ください。

ビスセット

枠取付用				
㊸	㊹	㊺	㊻	㊼
取付木ネジ (上用)	取付木ネジ (縦用)	取付木ネジ (外用)	アングル用木ネジ	アソカー
※1φ3.5x50皿木ネジ	※2φ3.5x40皿木ネジ	※3φ3.8x32特平皿	※1.2φ3.1x20丸皿木ネジ	

※1 木ネジは余分に入っている場合があります。
※2 アングル付枠にセットされています。

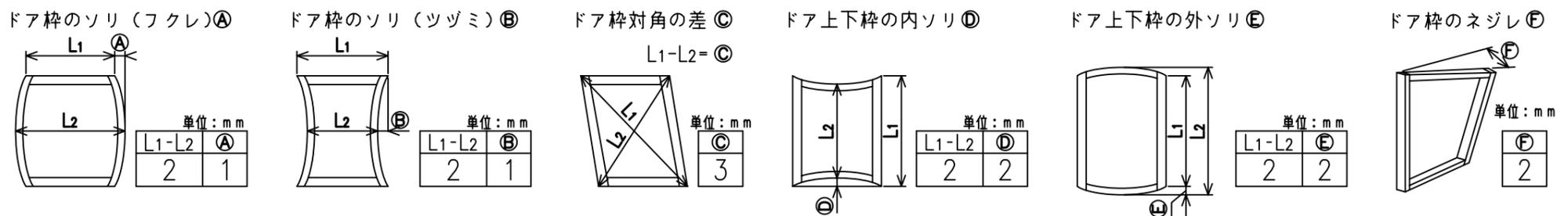
丁番セット

㊽	㊾	㊿	㋀
丁番	丁番取付ネジ	高さ調整入ペーサー	枠側丁番入ペーサー
枠用	本体用	4x20皿	

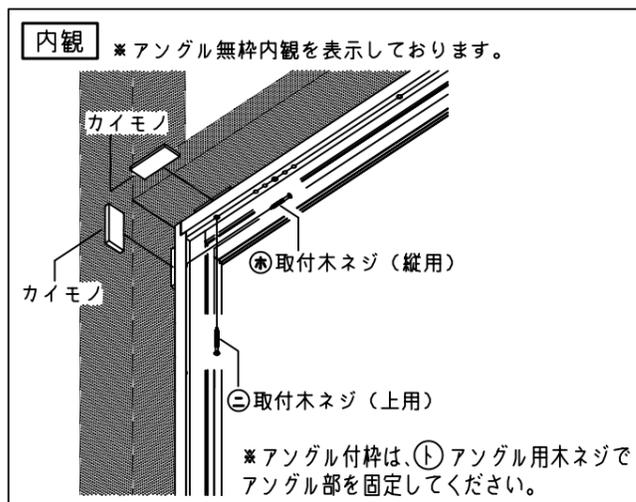
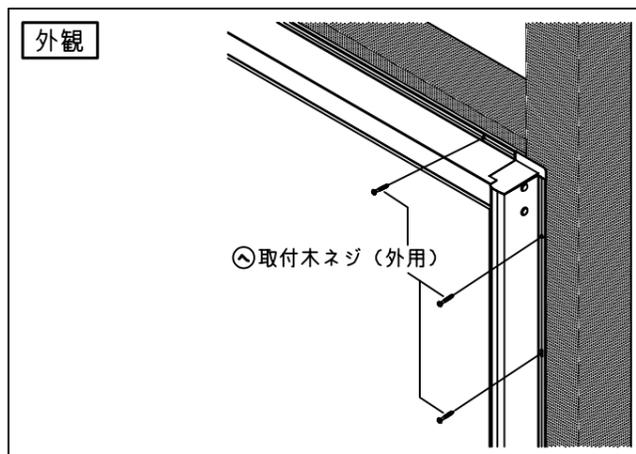
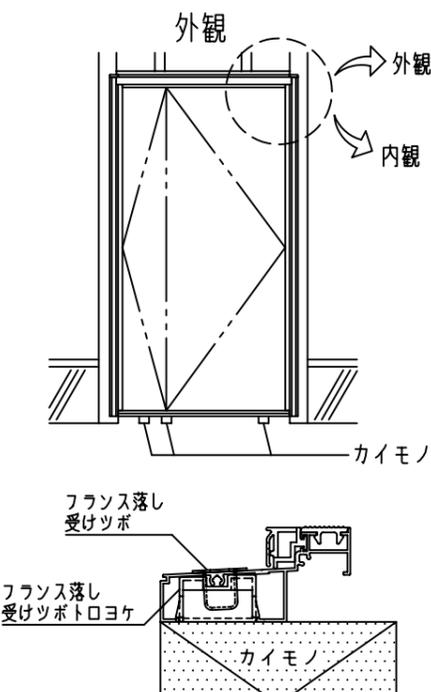
5 枠の取り付け

お願い 枠の施工の際には、下記寸法以下をお守りください。

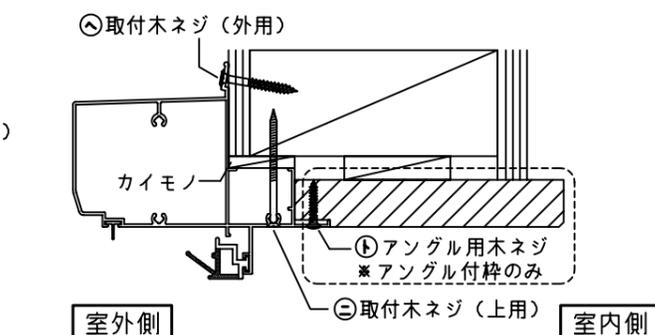
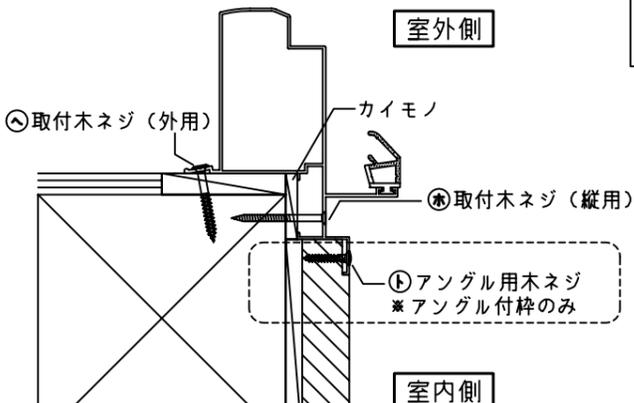
『性能の低下』『開閉が重くなる』『錠がかかなくなる』『扉が吊り込めなくなる』といった原因になります。



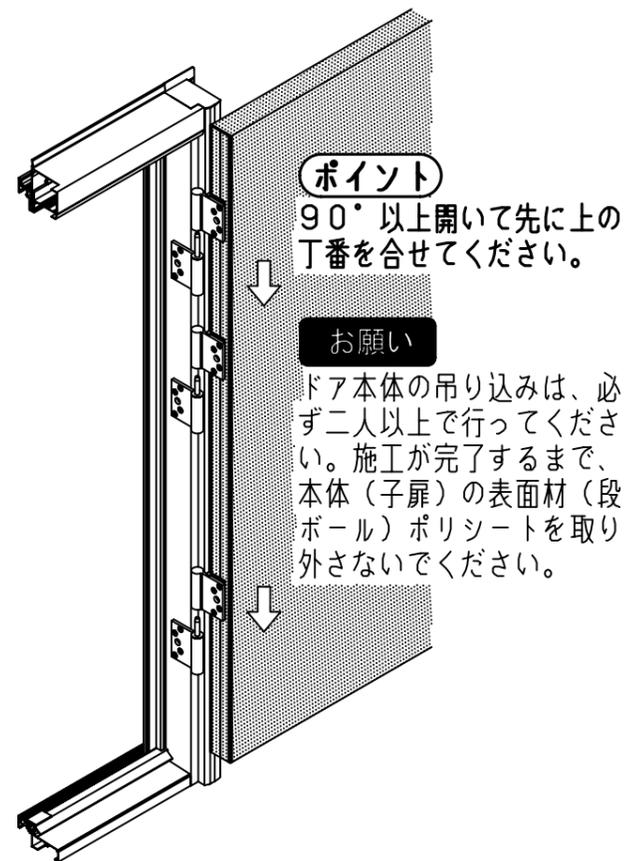
- お願い**
- ・下げ振り・水準器を使用して、開口部の水平・垂直を確認し、枠を仮止めします。
 - ・枠は、ネジレ・倒れ・ゆがみを直した後本固定してください。
 - ・必ず扉本体を吊り込み(『6. 本体の吊り込み』参照)、枠と本体のチリ寸法を確認してください。
 - ・下枠の垂れ下がり防止対策として、カイモノを敷いて下枠を受けてください。
 - ・親子・両開ドアの場合は、必ずフランス落とし受けツボトロヨケの位置、袖タイプの場合は方立の位置にカイモノを敷き、下枠を受けてください。



ポイント
室内側の取付木ネジ固定の際は、転び防止のため、躯体と枠の隙間にカイモノを挟んでください。



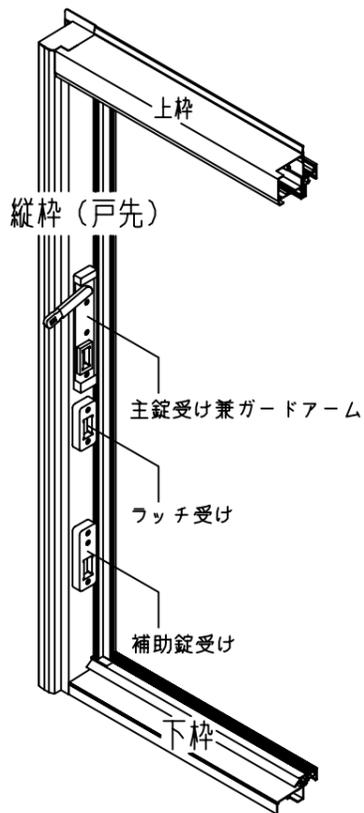
6 本体の吊り込み



① ドアクローザー梱包内の取り付け説明書を参照して取り付けてください。

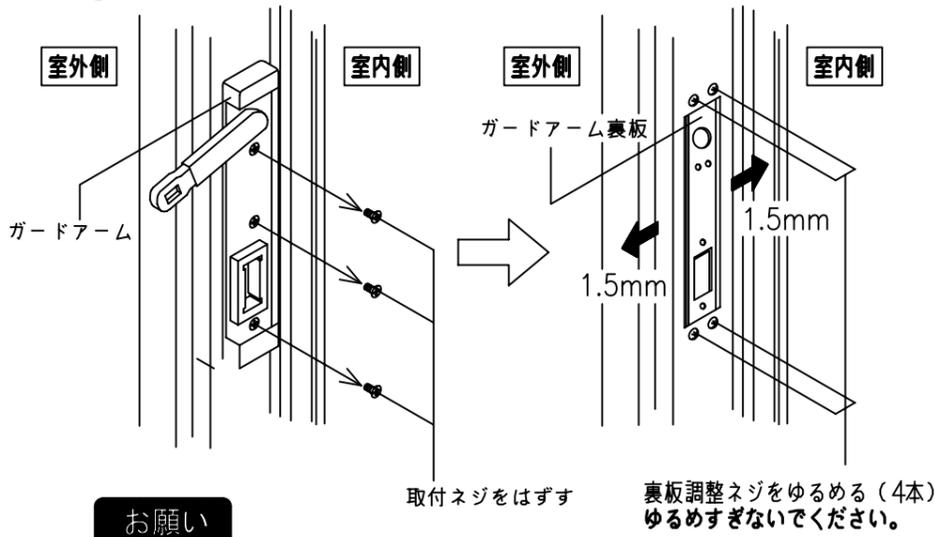
8 錠受けの調整

電動ドライバー使用禁止



主錠調整範囲 主錠がかからない場合

- ① 主錠がかからない場合は、ガードアーム裏板を動かします。ガードアーム取付皿ネジを取りはずし、ガードアームを取りはずしてください。
- ② 裏板調整ネジをゆるめて裏板を、室内外に調整してください。
- ③ 調整後、ガードアームを取り付けてください。



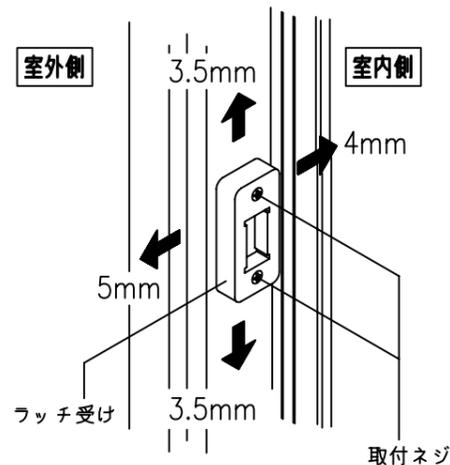
お願い

※本図は縦枠戸先側ですが、親子・両開きタイプの子扉も同様の調整ができます。

・裏板調整ビスを再度締める時は、しっかり締め付けてください。締め方が弱いと、ガードアームがガタつくおそれがあります。

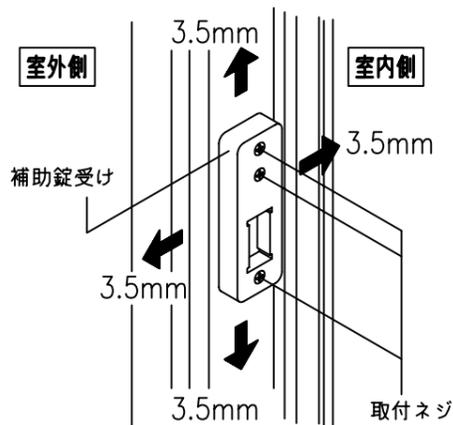
ラッチ受け調整範囲 ラッチがかからない場合

- ① ラッチがかからない場合は、ラッチ受けの取付ネジをゆるめて、受けの位置を調整後、取付ネジをしっかり締め付けてください。



補助錠受け調整範囲 補助錠がかからない場合

- ① 補助錠がかからない場合は、補助錠受けの取付ネジをゆるめて錠受けの位置を調整後、取付ネジをしっかり締め付けてください。



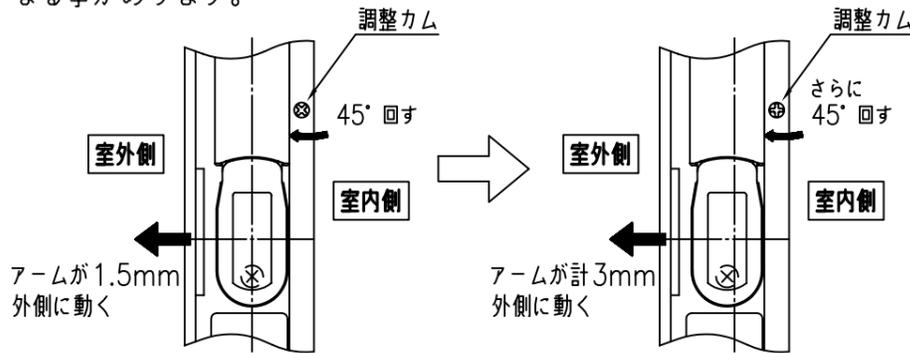
9 ガードアームの調整

電動ドライバー使用禁止

- ① 下図の調整カムを + ドライバーで、時計回りに45°回すと1.5mm さらに45°回すと3mm調整できます。
※本図はR勝手の場合です。L勝手の場合は、反時計回りに回してください。

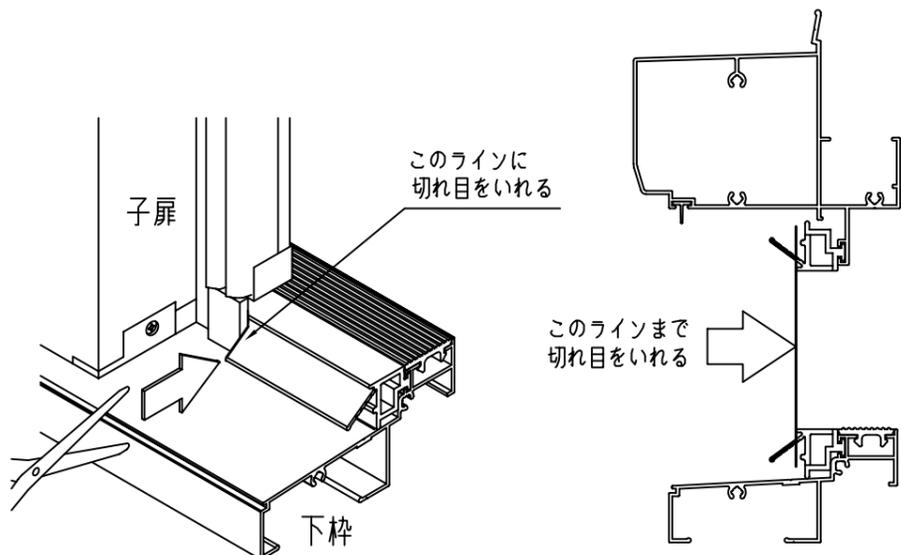
お願い

・調整カムを初めの位置から無理やり逆回転に回したり、初めの位置から90°以上無理やり回さないでください。調整カムが壊れ、調整ができなくなる事があります。



10 上下枠タイト材の切り込み（親子、両開きタイプのみ）

- ① 親子、両開きタイプのドアの場合は、子扉とタイト材の重なるラインで上枠、下枠ともに、タイト材にハサミ等で切れ目を入れてください。
※本図はR勝手、下枠を表示しております。



11 上下枠フランス落とし受けつぼの調整

電動ドライバー使用禁止

（親子、両開きタイプのみ）

- ① 親子、両開きタイプのドアの場合は、上枠、下枠ともに、受けつぼ取付ネジをゆるめて、フランス落とし受けつぼを、3mmまで室外側に調整できます。
※本図は下枠を表示しております。

